

【基本方針】

- I 「一人一人の安全確保」
- II 「最大限の学びの継続」

生命の安全を最優先する  
学びを止めない最大限の策を講ずる

1. 行動基準	2. 学級閉鎖・休校	3. 長期間の閉鎖措置	4. 教職員の自宅待機	5. 人権意識の強化
<p><b>Level1 3密(密接・密集・密閉)回避</b> ★日常の十分な感染対策 ☆自己管理の徹底 検温 マスク 手指消毒 黙食 人との距離を1mとる ☆安全環境の整備 常時換気 教室使用記録記入 施設使用後の消毒</p> <p><b>Level2 他者との接触回避</b> ★感染の高リスクの制限 ☆自己管理の強化 極力、教室内で過ごす 対面交流なし 食器の個人返却 ☆教育活動の停止 教育活動・行事の延期 or 中止 短縮日課(最終下校 15:20) 歯磨き、フッ化物の活動停止 他学級との活動停止(委員会等) 廊下等一方通行の動線確保 部活動停止</p> <p><b>Level3 自宅待機(学級閉鎖)</b> ★感染の低リスクの制限 ☆自宅で健康安全に留意する 健康確認→オンライン 教育相談→Teamsの活用</p>	<p><b>学校と家庭の双方向の学習</b> ★オンラインとプリントによる学びの継続 ・iPad を活用して Zoom や Teams による授業の Live 配信を行う。 ・ロイロノートで課題を提出したり、意見交流を行ったりする。 ・ドリルパークで練習問題に取り組む。多様な分野を主体的に学習することができる。 ・プリントを配布し、練習問題に取り組む。教科担任からの課題とする。</p> <p><b>家庭と学校の双方向の相談体制</b> ★教育相談 学級閉鎖中の生徒の教育相談について以下のような不安のある保護者の方は、遠慮なく学校にご連絡ください。 ① 入試等進学にかかわる相談 ② 自宅での学習についての相談 ③ その他 お困りのことの相談 *相談方法も個々に対応します。</p>	<p><b>自宅待機(学級閉鎖)</b> *期間→原則5日間 ★学校機能の継続 ☆Teams による生徒間のつながり ・学校の日課をオンラインで実施する。 朝の会 学活 委員会 等 ☆Teams によるオンライン授業 ・学年時間割で授業配信する。 学年間の同一時間割 ・教育課程を確実に実施する。</p> <p>★心身の健康状態の把握 ☆Google による心身の健康確認 ・iPad を活用して、毎朝、心身の健康状態をチェックして8時まで送信する。 ・生活アンケートによって、家庭生活の状況を把握する。 (学習時間・睡眠時間・ゲーム等の時間等)</p>	<p>*感染防止のため教職員が自宅待機となることも考えられます ★自宅からオンライン対応 ・担任による朝の会や学活を行う。 ・教科の授業をオンラインで行う。 ★教科担任による授業 ・学年時間割とするため、各教科部の教員による専門教科の授業を配信する。</p> <p>*教職員は学校職員として感染対策を徹底し、自覚ある日常を送っています ・毎日の健康チェック(同居家族等の健康管理にも気を配る) ・規則正しい生活(休養をとる) ・基礎疾患がある、健康に不安がある場合は、かかりつけ医との連携をとる。 ・感染リスクの高い行動を避ける。</p>	<p>一人一人を大切にす教育 ★いじめや差別、偏見のない学校として ☆人権教育・道徳教育を通して ・仲間のことを自分事として考える力を育てます。 ・認識力・自己啓発力・行動力を高める教育を実践しています。 ・心を育てる特別の教科道徳の授業を週1時間行っています。 ・日常の教育活動を通して、仲間とともに学び、仲間のために何が、如何にできるのかを考え、実行できる力をつけています。 ☆日常の授業を通して ・義務教育で身に付けるべき学力を強化し、状況を見極め、正しく判断できる力を付けています。 ☆いじめを考える取組を通して ・大切な仲間を守り合う関係をつくる教育活動を実施しています。 ・いじめを未然に防止するため複数の目で生徒を見守っています。</p>

教育目標 「仲間とともにたくましく生きる生徒」の実現に向けて  
一人一人の生命を守り抜くための安全教育を通して、正しい判断力と確かな行動力を育成します！